有限会社 吉田研磨工業

27 年度〈事業計画名〉
培ったワザと最新技術の融合で、一層の刃物研磨オンリーワン企業を目指す

Data
［代表者名］代表取締役社長　吉田 玉吉　［設　　立］1996年６月
［実施場所］〒020-0801　岩手県盛岡市浅岸2丁目14-15
TEL.019-622-0241　FAX.019-651-0674
E-mail . yoshida-kenma@view.ocn.ne.jp
［ＵＲＬ］http://www.yoshida-kenma.com/
［資 本 金］300 万円　［従業員数］６名
［事業内容］刃物の設計・製造・研磨、工作機械の刃の研磨・メンテナンス

県内唯一の刃物研磨事業者として東北唯一導入のドイツ製高性能研磨機により顧客需要に応える

職人による最高峰の刃物研磨の技術と最新加工機械の技術を融合させることにより、顧客にとってなくてはならない存在へとステップアップを図る。

熟練された技術をいかし、法人需要に対応 岩手県内唯一の刃物類研磨会社

当社は個人事業として創業し47年を迎える、刃物類の研磨事業者である。近年の一般刃物類の低価格化、使い捨て化によって同業界は厳しい状況に置かれている。その中で当社は、長年培ってきた職人による刃物研磨の技術と、工作機械の刃の研磨・メンテナンスなどの法人需要を取り込むことにより企業価値を高めてきた。

現在、岩手県内に同業他社はおらず、北東北においても数社存在する程度であり、希少企業としての優位性がもたらす利益を得てきたところである。しかし、昨今の経済環境等の変化によって様々な課題が生じてきている。一つは受注機会損失の増加である。素材技術の進展・多様化に伴い刃物の交換・メンテナンス頻度が増加し、さらに同業社の閉鎖による新規受注も増加したものの、現有の設備能力では全てには対応しきれず受注機会の損失を生んでいる。二つめは外注コストの増加である。当社では仕様設計までを社内で行い、加工や製作は外注企業に委託している事例も増加している。現有の設備能力では粗加工程度までを外注に委託するだけでは難しく、完成品まで委託し納入を行っているものもある。そのため外注費が増加している。

「自動チップソー研磨機 CHC840 型」の導入によって、加工時間、リードタイムの大幅短縮を実現。

そこで、顧客の求める品質基準を維持するとともに加工時間、リードタイムの短縮化、外注コストの削減を実現するために、高性能加工機を２台導入した。

生産能力拡大強化、業務内製化のために高性能加工機を導入

高性能加工機の導入にあたり、①顧客要求を満たす品質基準の達成、②加工時間の大幅短縮、③消費材・消費電力省力設計、④操作の簡便性の４つの視点を考慮した。これらをクリアする機種として選定したのが、「全自動研磨機GX-70S」と「自動チップソー研磨機CHC840型」の2機種である。

「全自動研磨機GX-70S」は、高作業性を実現する自動送り機能が特徴である。マグネットセッティング方式により水平、垂直の合わせ作業の精度向上により加工速度も向上した。１台で粗削りと超硬部研磨の両方をこなすことができる。

「自動チップソー研磨機CHC840型」は、従来のチップソー研磨の４工程を１工程で処理できる機械である。４軸CNC制御により研磨時間、部品交換等の時間も大幅に短縮できるようになるとともに、メンテナンス労力も低減することができる。さらに、大型刃（鋸外径840㎜）まで研磨可能である。

１台で粗削りと超硬部研磨の両方が可能な「全自動研磨機 GX-70S」。

高性能加工機の導入により品質基準の維持、再現性のある高度な技術の継承へ

高性能加工機は現在引き合いの多いサイズや形状にも十分対応できる他、熟練工が最大４工程組み合わせた作業も、１回の自動研磨で対応可能となった。

加工時間、リードタイムの大幅短縮も実現し、「自動チップソー研磨機CHC840型」は既存加工機よりも加工部品の取付時間、取替時間の双方が削減され、最大40分短縮となった。「全自動研磨機GX-70S」は粗研磨と仕上研磨を部品取替えなしで行えるため、既存加工機よりも最大92分短縮することができた。既存機との併用で一層の効果が期待できる。

大型刃や複雑形状の刃の加工が内製化されたことで、受注主流の鋸外径710㎜の場合、これまで１カ月のリードタイムを要していたが、１週間以内での納品が可能になったうえ、コスト削減も実現した。

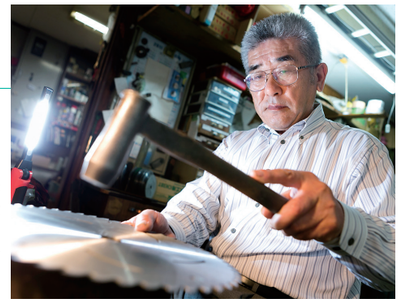
また、導入した２台とも「最新操作パネル」機能がある。熟練工のノウハウをメモリー機能により設定記憶させ、再現させることにも優れている。このことにより、若手でも操作できるようになり、おのずと再現性のある高度な技術の継承に繋がっていく。

両機とも簡単操作パネルが付いており、比較的容易に操作できるのも特徴。

事業の実施により生産性が向上「地域雇用の受け皿」につなげていく

本事業の実施によって受注機会ロスの解消が見込まれる。それにより生まれる売上げの増加とこれに伴う雇用ニーズを創業当初から掲げていた「地域雇用の受け皿」の機能強化につなげ、地元の雇用活性化、産業の活性化に貢献していく。

生産性向上にともない、さらなる生産プロセスの改善が構築され、新規顧客群の獲得が期待される。当社の知名度を更に向上させる観点から、岩手県や宮城県で行われる取引斡旋系の公的イベントや金融機関主催で開催されるマッチングイベントにも積極的に参加するとともに、トップセールスによる営業を展開し、新規の顧客獲得に向けて注力していく。


有限会社吉田研磨工業、代表取締役社長の吉田玉吉さん。丸鋸のゆがみを直す「こし入れ」は、熟練のなせる技。